

## 第2回

# 南極・北極 SDGs 探究学習コンテスト

## 応募要項

「南極・北極 SDGs 探究学習コンテスト」とは、SDGs（持続可能な開発目標）に関心を持ち、未解明の課題に挑戦する行動力を育むことを目的としたコンテストです。今、地球温暖化が急速に進行し、地球環境の変化が懸念されています。特に、南極・北極では、氷河・氷床や海氷の融解によって温暖化が他の地域より急激に進行しており、地球環境の未来を考えるのに最適な教材になっています。南極・北極地域に関するテーマ（地球環境、気候変動、観測・研究活動、環境保護、エコ生活など）を選び、探究学習を通じて SDGs に取り組んでもらいます。このコンテストは、極域研究の中核機関である国立極地研究所や大学・研究機関、南極・北極観測支援企業、SDGs 支援企業などと連携して実施されます。未来の持続可能な社会を実現するための人材育成に役立つ取り組みの一つです。

なお、このコンテストは JKA（オートレース）の補助を受けています。

### 応募資格

- ・小学生を代表者とするチーム
- ・チームの条件は、人数が3名以上で、小学生、あるいは小学生とその協力者（家族、教員など）。大人を含めても問題ありませんが、応募作品の制作は小学生が主体となって取り組んでください。

### 探究学習の進め方

南極・北極に関係したテーマを自由に選び、その探究学習の成果を作品としてまとめてください。探究学習の進め方については、必要な場合は、教員や指導者のアドバイスを受けてください。探究学習が SDGs の 17 の目標のどの目標につながったかについても述べてください。

### 応募作品について

#### 南極・北極について、探究学習を通し SDGs 達成に向けて取り組んだ作品

- ・作品は、文章、イラスト、写真、漫画、動画など自由で、他のコンテスト等に未発表のもの。
- ・サイズ：A4～A3
- ・ページ数：30 ページ以内
- ・なお、作品は家族などの協力を受けたものでも良いが、あくまでも主体は小学生であること。
- ・

### 著作権の扱い

著作権は応募者に帰属します。情報を引用する場合は、必ず引用元を表記してください。

## 応募要項発表/WEB サイト公開

発表：2023 年 7 月初旬

公開：（公財）日本極地研究振興会 WEB サイト、毎日小学生新聞、その他

## 応募期間

受付開始：2023 年 8 月 21 日（月） 応募締切：2023 年 10 月 20 日（金）

## 応募方法

- ・ 手書き、Word や PowerPoint など作品の制作方法は自由ですが、PDF 形式（25MB 以内）で保存したものを、当財団 Web サイトの応募フォームよりご提出ください。
- ・ 動画の場合は、YouTube 等にアップロードし URL を送ってください。

## 賞について

### 【特別賞】

協賛パートナー企業名を冠した賞で、賞状と記念品を応募チームに、副賞をチーム代表が所属する学校・団体に授与（10 作品程度）。上位 2 作品には、チームに図書カード（1 万円相当）を贈呈。

### 【参加賞】

全参加者（小学生）に記念品を授与

## 入賞作品の発表と応募作品の公表

特別賞受賞者の発表：2023 年 12 月（朝日小学生新聞と日本極地研究振興会のホームページなどで公表）

授賞式：2024 年 1 月（オンラインで実施予定）

応募作品の公表：特別賞作品については作品の全ページを日本極地研究振興会のホームページなどで公表

## 審査について

- ・ 極地研究者、南極観測隊経験者、極地冒険家、SDGs 実践校・ユネスコスクール等の教員等で構成する審査委員会で審査。
- ・ 1～3 年生部門と 4～6 年生部門に分けて審査します。

## 南極と北極地域は SDGs の担い手育成のための最適な教材

1961 年に発効した南極条約は、日本も原署名国 12 カ国の一つですが、南極地域の平和的利用、科学的調査の自由と国際協力の促進、領土権主張の凍結を定めた理想的な条約で、南極は地球上で唯一の国境のない大陸となりました。また、最大 4100m の厚さをもつ南極大陸の氷（氷床と言う）は、そこに閉じ込められた空気や氷の試料から過去 100 万年の気候変動を知ることができる貴重なタイムカプセルです。さらに、人間活動の影響が最も少ない南極は、オゾンホール の出現に代表されるように、人間活動による地球環境・生態系の変化を先行して知ることができる敏感なセンサーの役割も担っています。

日本は、1956 年の第 1 次南極地域観測隊から今日まで、毎年南極に観測隊を派遣し、オーロラ、気象、雪氷、生物、地学、隕石、寒地工学等の分野でフロンティアへの挑戦が続いています。昭和基地やドームふじ基地など日本の観測基地の建設では、先進的な省エネルギー・低環境負荷技術を開発してきました。

一方、北極地域では、夏季の北極海の海氷面積はここ 30 年で半減し、温暖化が加速度的に進行しています。

その結果、北極だけでなく、日本の寒冬豪雪にも関連しているのではないかとされるようになってきました。そこで各国が協力し、北極地域の総合的な観測が始まっています。日本は2020年度から「北極域研究加速プロジェクト(ArCSII)」を実施中で、新たに北極域研究船の建造も進めています。

このように、南極・北極地域で国際協力の下に実施されている日本の様々な活動は、SDGsの達成に必要な地球環境・生態系の未解明の課題の解明に大きな貢献をしています。さらに、極地の厳しい自然環境下での活動経験は、困難な課題に挑戦する勇気が、未知なるものへの知的好奇心とチームワークから生まれることを教えてくれます。南極・北極地域こそSDGsの担い手を育てるための最適な教材です。

## 探求学習のテーマの例

- ✓ ペンギン、ホッキョクグマ等を通して南極・北極地域における生態系のことを考える
- ✓ 温暖化、異常気象、オゾンホール等、気候・環境変動のこと
- ✓ 南極や北極での観測（オーロラ、隕石、氷床ボーリング、岩石・鉱物、永久凍土等）のこと
- ✓ マイクロプラスチック等、海洋汚染の問題
- ✓ 環境保護の活動について
- ✓ 極限環境でのエコ生活(建物、発電、暖房、汚水・ごみ処理等)や月・火星探査での生活への応用
- ✓ 北極地域の有効利用(北極海航路、北極資源等)について
- ✓ 南極・北極探検の歴史、現代の極地の冒険、極地観光、南極条約、環境保護議定書

## 探究学習のための教材提供

日本極地研究振興会は南極・北極探究学習に取り組むための参考資料として以下の教材を提供しています。ホームページの公式オンラインショップから申し込み、「通信欄」に「コンテスト応募予定」と書いてください。

- ✓ デジタル教材（南極・北極に関する情報を配信しています）

<https://kyokuchi.or.jp/learn>

- ✓ 刊行物（2割引で頒布）

- ・ 小学生用SDGs副読本および学習プログラム「南極・北極から地球の未来を考える」
- ・ 南極大陸地図、北極域地図、南極半島地図
- ・ 南極と北極の総合誌「極地」など



デジタル教材



刊行物

## 先生・指導者の皆さまへ

文部科学省は令和元年度からユネスコ活動費補助金事業として、「SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業」を始めました。日本極地研究振興会が事業主体となって申請した「南極・北極から地球の未来を考えるESD副読本と学習プログラムの開発」が令和元年度から3年連続でこの事業に採択され、様々な機関と連携したコンソーシアムによって事業を進めています。「持続可能な社会の創り手」を育成するためには、幅広い知識の獲得に加え、異なる意見の人々との議論から新しい課題を見出し、自分のアイデアをまとめるなど、様々な能力が必要となります。厳しい環境下で知的好奇心をもって未知の課題に挑戦した極地経験者にはそうした能力が備わっています。南極・北極をテーマにした探究学習はそうした力を育むためにふさわしい学びの場となるでしょう。ぜひご活用ください。

## 小学生の皆さんへ

しょうがっこう 小学校でもエスディージーズ（SDGs）への取り組みが始まり、皆さんはSDGsのために何ができるのかをかんがはじめていると思います。SDGsの17の目標と169のターゲットのどれ一つをとってもその達成はとても大変な仕事です。これからSDGsを進めていくことになる皆さんは、身近にできることだけでなく、むつかしい課題に挑戦する行動力を養うことが大事です。南極・北極SDGs探究学習コンテストにチームで挑戦し、好奇心とチームワークの大切さを学んでください。

## 企業、団体の皆さまへ

南極・北極SDGs探究学習コンテスト実施にあたり、パートナーシップに参加いただける企業様、団体様を募集しております。ぜひご支援をお願い申し上げます。

## 主催・協賛・後援など

主催：公益財団法人 日本極地研究振興会

協賛：南極・北極SDGsネットワーク事業パートナー企業

後援：（依頼中）国立極地研究所、ESD活動支援センター、立川市教育委員会など

補助：JKA 補助事業（オートレース）



## 第1回コンテストについて

なお、第1回のコンテストの受賞作品およびその他の応募作品の概要（まとめの図）は右のQRコードのサイトからご覧になれます。



## お問い合わせ

（公財）日本極地研究振興会 事務局

〒190-0023 東京都立川市柴崎町 2-5-2-503

TEL:042-512-5357 メール: [contest2023@kyokuchi.or.jp](mailto:contest2023@kyokuchi.or.jp)

Web サイト: <https://kyokuchi.or.jp/contest>